

[報 告]

「ELyT School 2018 in Sendai」参加者見学報告

スーパーコンピューティング研究部 江川隆輔

東北大学は海外大学、研究機関との連携プロジェクトの一つとして、1997 年よりフランスリヨン大学およびその関連研究機関と Engineering & Science, Lyon & Tohoku (ELyT)を進めております。ELyT には、フランス国立科学研究センター (CNRS)、フランス国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)、リヨン中央理工科学学校 (ECL) の 4 機関が E 共同研究や学生の相互派遣を 10 年以上続けています。

ELyT の活動として毎年開催されている ELyT School の記念すべき第 10 回目が仙台開催され、8 月 28 日には、流体科学研究所和田直人特任教授引率のもと、本 ELyT School に参加された計 50 名の皆様が本センターの見学に来てくださいました。参加者の内訳は、フランスリヨンから 22 名、中国南京航空航天大学から 2 名、アメリカシアトルの Washington University から 2 名の計 26 名と、東北大学からもほぼ同数の学生にご参加いただきました。

見学では、本センターの沿革、スーパーコンピュータシステムに関する研究開発の取り組み、大規模科学計算システムの概要を紹介した後、スーパーコンピュータ、3 次元可視化システム、コンピュータ博物館の見学を行いました。見学者の皆様は、本センターが運用するシステムや東北ならではの冷却設備、さまざまなシミュレーションにより得られた成果に大変興味を持たれたようで多くの質問いただき、活発な議論をすることができました。また、其々の見学箇所でもご質問をいただき、熱心に見学いただきました。

次回の仙台開催の折に、また皆様にお会い出来るのを楽しみにしています。

